

## 夏風つかみ快走 SAILおおつ

湖国の夏恒例のヨットレース「第16回SAILおおつ」(京都新聞主催)が24日、大津市柳が崎沖の琵琶

湖で開かれた。乗り手たちは弱い風でヨットを進めるのに苦労しながらも、かじと帆を巧みに操り、湖上を



白い帆をいっぱい広げて一斉にスタートを切ったヨット(24日午前11時15分、大津市柳が崎沖)―撮影・辰己直史

一般は大津市の林幸成さん(36)、OPは同市の北大路中1年の須田英実子さん(13)がそれぞれ優勝した。(吉岡宏)

滑るように駆けた。大会は、1998年から開催。さまざまな種類のヨットが参加でき、今年は滋賀県や京都府、大阪府などから68艇94人が出場した。レースは沖合3カ所のブイを回るコースで、一般と小中学生対象のオプチミスト(OP)の2クラスで行った。ヨットにはそれぞれ1〜3人が乗り込み、風を少しでも受け止めようと懸命に白い帆を動かしてヨットを走らせ、競り合いを繰り広げた。